



独立行政法人

大学評価・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and University Evaluation

機構ニュース

Vol.152 2016 January

今月の記事

Top News

○年頭のご挨拶1

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与

○平成27年度10月期申請に係る「大学評価・学位授与機構試験」を実施2

機構認定の教育施設(各省庁大学校)の課程修了者への学位授与関係

機構認定の教育施設(各省庁大学校)の課程修了者への学位授与

○34人から学位授与の申請
—修士又は博士相当の課程修了見込者—3

質保証連携

質保証人材育成

○「平成27年度大学等の質保証に関する機構職員研修【オプションプログラム】(第2回)」を開催4

国内外の質保証機関等との連携

○「キャンパス・アジア」モニタリング 日中韓共同訪問調査(於:東京大学)の実施4

マレーシア資格機構(MQA)会長との会談を実施5

機構の窓

○会議の開催状況6

主要行事日程

○Schedule(1月~3月)7

TOP NEWS

〇年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

さて、本年は、機構にとって、新たなスタートとなる大変重要な年です。既にお知らせしているとおり、当機構は、平成28年4月1日をもって、独立行政法人国立大学財務・経営センターと統合し、「独立行政法人大学改革支援・学位授与機構」となります。

今回の統合においては、当機構がこれまで行ってまいりました、大学評価、学位授与、質保証連携やこれらに関わる調査研究等の業務、また、国立大学財務・経営センターにおいて行っている、施設費貸付・交付等の業務は、新法人に全て引き継がれることとなっております。

4月1日から、これらの業務をこれまでどおり着実かつ効果的・効率的に実施するとともに、両法人の蓄積や強みを活かしたシナジー効果も生み出しつつ、高等教育の質の向上の支援機能が更に強化されるよう、目下、国立大学財務・経営センターと協力して新たな組織づくりを進めているところです。

グローバル化の進展や大学の多様化など我が国の高等教育を取り巻く環境が急激に変化するなかで、当機構、国立大学財務・経営センターや新法人のような大学支援組織に対する期待、果たすべき役割は、近年、より一層大きなものとなってきております。

我が国の高等教育の更なる発展に寄与すべく、教職員一丸となり、一層努力してまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成28年1月4日

独立行政法人大学評価・学位授与機構

機構長 野上智行

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

■短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与

○平成27年度10月期申請に係る「大学評価・学位授与機構試験」を実施

平成27年12月6日（日）及び13日（日）に、平成27年度10月期申請に係る「大学評価・学位授与機構試験」を実施しました。

面接試験は東京で、小論文試験は全国3か所（東京・大阪・福岡）で実施しました。
試験の実施状況は次のとおりです。

1 面接試験

(1) 日 時 平成27年12月6日（日） 10時00分～14時00分
(1人当たり15分程度)

(2) 受験状況

受験予定者数	61人
受験者数	61人
欠席者数	0人
受験率	100%

2 小論文試験

(1) 日 時 平成27年12月13日（日） 午前の部 11時00分～12時30分
午後の部 14時30分～16時00分

(2) 受験状況

受験予定者数	794人
受験者数	788人
欠席者数	6人
受験率	99.2%

今後、各専門委員会・部会における修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を経て、平成28年2月12日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には学士の学位を授与する予定です。

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

■機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与

○34人から学位授与の申請 ー修士又は博士相当の課程修了見込者ー

大学院に相当する教育を行う課程として認定されている各省庁大学校の平成28年3月修了見込者34人（修士課程相当30人、博士課程相当4人）から、学位授与の申請がありました。

今後、各専門委員会・部会における論文の審査及び試験（口述）を経て、平成28年3月11日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者にはそれぞれ修士又は博士の学位が授与される予定です。

<修士及び博士の学位授与申請者数>

認定課程名	学位（専攻分野）	申請者数（人）
防衛大学校 理工学研究科（前期課程）	修士（理学）	1
	修士（工学）	9
防衛大学校 理工学研究科（後期課程）	博士（工学）	4
防衛大学校 総合安全保障研究科（前期課程）	修士（安全保障学）	14
独立行政法人水産大学校 水産学研究科	修士（水産学）	1
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科（前期課程）	修士（看護学）	5
合 計		34

質保証連携

質保証人材育成

○「平成 27 年度大学等の質保証に関する機構職員研修【オプションプログラム】(第 2 回)」を開催

平成 27 年 12 月 16 日(水)に平成 27 年度大学等の質保証に関する機構職員研修【オプションプログラム】(第 2 回)を小平本館にて開催しました。当研修は、6 月 18 日(木)開催の【基本プログラム】、9 月 2 日(水)開催の【オプションプログラム】(第 1 回)に引き続き、【オプションプログラム】の一環として、『「情報発信スキル研修」:迅速で効果的な情報発信とは—機構の情報発信に係る現状の検証—』と題し、株式会社電通パブリックリレーションズより、エグゼクティブ・アドバイザーの花上憲司氏、PR ディレクターの鹿野由利子氏のお二方を講師にお迎えし、実施しました。



講義を行う花上氏



参加者に質問をする鹿野氏

当日は、演習参加者を中心に約 80 名の参加がありました。

参加者の中には、当機構の教職員のみならず国立大学財務・経営センターの職員もおり、効果的な PR の手法に対する関心の高さが伺えました。

はじめに、他機関における事例を交えつつ、PR の重要性や組織広報の在り方等に関する講義が行われました。次に、当機構制作の資料等についてのレビューを通して、情報をわかりやすく伝えるコツを学ぶための講義が行われました。その後、演習形式で、当機構制作の資料やウェブサイトの改善点等についてのディスカッションが行われました。扱われた題材が参加者にとって身近であったこともあり、各グループで白熱した議論が交わされました。なお、各講

義においても、参加者同士でディスカッションを行う機会が多数設けられました。最後に、当機構の授与する学位の認知度を向上させるための情報発信の手段として、いかなる媒体が効果的か、といった質問等、熱心な質疑応答が行われました。

今回の研修は、参加者にとって広報誌、ウェブサイト等の情報発信ツールの効果的な活用方法を学ぶことのできる貴重な機会であり、また来年度の統合を控え、当機構における情報発信の在り方について見直す良い契機となりました。

なお、【オプションプログラム】(第 3 回)についても、今年度中に実施する予定です。



演習の状況

国内外の質保証機関等との連携

○「キャンパス・アジア」モニタリング 日中韓共同訪問調査（於：東京大学）の実施

平成27年12月18日（金）、東京大学にて、「キャンパス・アジア」2次モニタリングにおける日中韓三国による共同訪問調査を実施しました。この2次モニタリングは、「キャンパス・アジア」の国際共同教育プログラムを、日中韓三国のモニタリング委員（専門家）が、共同でモニタリングするものです（共通言語は英語）。モニタリングにあたっては、プログラムを構成する三国の大学が一つのコンソーシアムとして一つの自己評価書を作成し、三国のモニタリング委員が書面調査を行った上で、共同訪問調査を実施することとなっています。

今回の共同訪問調査では、モニタリング委員及び質保証機関関係者として、日本から9名、中国から1名、韓国から5名が参加しました。

前日の17日（木）には、共同訪問調査に向けた委員間の打合せを実施し、翌日の訪問調査における質問事項等を確認しました。

訪問調査当日は、プログラムを実施する日中韓三大学の関係教職員及び学生が参加し、今後のプログラムの向上及び改善等の方策について、委員との面談（質疑応答や意見交換）を行いました。プログラムの参加学生・卒業生との面談では、プログラムに参加した感想や意見を聴取しました。

また、今回の共同訪問調査では、面談のほかプログラム側が実施する日中韓合同シンポジウムの傍聴も行いました。

今後は、平成28年1月に韓国において他のプログラムの共同訪問調査を実施し、報告書をまとめる予定としています。



委員間の打合せの様子（訪問調査前日）

○マレーシア資格機構（MQA）会長との会談を実施

平成27年12月14日（月）、文部科学省にて、野上機構長とマレーシア資格機構（MQA）の Rujhan Bin Mustafa（ルジハン・ビン・ムスタファ）会長が会談を行いました。当機構とMQAは平成23年に覚書を締結しています。会談では、野上機構長より当機構の事業紹介を行った後、当機構とMQAの間で実施している相互認証実現可能性のための比較調査プロジェクト等について意見交換を行いました。

当機構からは野上機構長、土屋評価研究主幹および国際課職員2名が参加しました。マレーシア側からは、MQA会長をはじめ大学関係者5名が出席しました。



出席者の写真

機構の窓

○会議の開催状況

○平成27年度大学ポートレートステークホルダー・ボード

平成27年12月21日（月）

・議事

- (1) 大学ポートレートの概要について
- (2) 大学ポートレートに対する意見・評価について
- (3) その他

主要行事日程

○ Schedule

1月

日	行事名	担当課
15日	高等専門学校機関別認証評価委員会（第3回）	評価支援課
20日	大学機関別認証評価委員会（第2回）	評価支援課
25日	法科大学院認証評価委員会（第2回）	評価支援課

2月

日	行事名	担当課
3日	豪州高等教育質・基準機構（TEQSA）による講演会	国際課
12日	学位審査会（平成27年度第4回）	学位審査課
15日	国立大学法人等の教育研究評価に係る評価者研修会	評価企画課
18日	国立大学法人等の教育研究評価に係る評価者研修会	評価企画課
22日	国立大学法人等の教育研究評価に係る評価者研修会	評価企画課
23日	学位記伝達式・講評	学位審査課
29日	国立大学法人等の教育研究評価に係る評価者研修会	評価企画課

3月

日	行事名	担当課
8日	高等専門学校機関別認証評価委員会（第4回）	評価支援課
10日	法科大学院認証評価委員会（第3回）	評価支援課
11日	大学機関別認証評価委員会（第3回）	評価支援課
11日	大学ポートレート運営会議（第4回）	大学ポートレート センター事務室
11日	学位審査会（平成27年度第5回）	学位審査課
15日	国立大学法人等の教育研究評価に係る評価者研修会	評価企画課
17日	国立大学法人等の教育研究評価に係る評価者研修会	評価企画課

